

江別第一中学校 学校だより

# 純誠



## 教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活をもつ生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和4年 11月30日 特別号

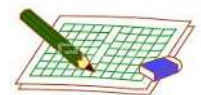
## 令和4年度 標準学力検査、全国学力・学習状況調査の結果!!

毎年4月に、標準学力調査「NRT」（全学年実施）と全国学力・学習状況調査（第3学年実施）を実施しています。本校生徒に必要な資質・能力がどれくらい身につけているのか、客観的に判断し、学校改善・授業改善につなげることを目的としています。学校として、調査の分析作業が一通り終了しましたので、各教科・生徒質問紙の結果概要及び今後の主な学校の取り組みについてお知らせいたします。

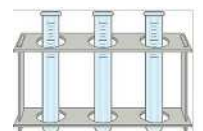
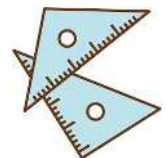
### 標準学力検査「NRT」（全学年実施）

- 1年生の教科総合の偏差値平均は、昨年度の1年生よりやや上回りましたが、全国平均を下回っています。国語で偏差値平均を上回っていますが、他の教科は下回っているため早急に対応する必要があります。特に、社会の「歴史的分野」の領域が全国比より低い傾向にあります。
- 2年生の教科総合の偏差値平均は、昨年度よりやや下回っています。社会は昨年度よりやや上回っていますが、全教科で偏差値平均を下回っているため早急に対応する必要があります。特に、国語の知識・技能の観点で全国比より低い傾向にあります。
- 3年生の教科総合の偏差値平均は、昨年度よりやや下回りましたが、全教科で偏差値平均を上回っています。特に、理科の「電流とその利用」、社会の「日本の諸地域」の領域が全国比より高い傾向にあります。

### 全国学力・学習状況調査「国語・数学・理科」（第3学年実施）



- 「全体」では以下の結果が得られました。
  - ・全国学力・学習状況調査の平均正答率では、国語が全国平均と同様で、数学がやや上回り、理科が上回っています。
- 「学習指導要領の内容・領域別」では以下の結果が得られました。
  - ・国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」がやや上回り、そのほかの内容はやや下回っています。
  - ・数学では、「数と式」がやや下回り、その他の領域は上回っています。
  - ・理科では、全ての領域で上回っています。
- 「評価の観点」では以下の結果が得られました。
  - ・国語では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」がやや下回っています。
  - ・数学では、「知識・技能」がやや上回り、「思考・判断・表現」がやや下回っています。
  - ・理科では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」がやや上回っています。
- 「問題形式」では以下の結果が得られました。
  - ・国語では、「選択式」がやや下回り、「短答式」、「記述式」がやや上回っています。
  - ・数学では、「選択式」、「短答式」がやや上回り、「記述式」がやや下回っています。
  - ・理科では、「選択式」、「短答式」、「記述式」の全てが上回っています。



## 生徒質問紙の結果（第3学年実施）

全国学力・学習状況調査の「生徒質問紙」から、全国平均・校内目標と比べて、以下の結果が得られました。

- 「自分には良いところがありますか」で、肯定的な回答をする生徒が全国平均よりやや上回りました。（校内目標80%以上に対しては、やや下回りました。）
- 「将来の夢や目標を持っていますか」で、肯定的な回答する生徒が全国平均より上回りました。（校内目標90%以上に対しては、下回りました。）
- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」で全国平均より上回りました。また、ICT機器の使用頻度に関する設問では、全国平均を大幅に上回りました。
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」で全国平均より下回りました。
- 学習に対する興味・関心等では、「教科は好きですか」で全国平均より国語が下回り、数学、理科が上回りました。

## 調査結果を踏まえた今後の主な学校のとりくみ

### 〔1〕 学力向上検証改善サイクルを活用した検証・分析からの授業改善。

教師主導ではなく、生徒が主体となり、ICT活用や対話を通して確かな力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう姿・人間性」）をつける授業にしていきます。

- 全国学力・学習状況調査や標準学力検査NRTの結果を各教科で分析し、全体で交流して現状と課題を把握します。
- 定期テストの計画・検証を教科部会で進め、結果分析と授業改善につなげます。
- チャレンジテストの結果分析と問題活用を進め、学力向上を図ります。

### 〔2〕 個別最適な学び・協働的な学びを進め、「授業で勝負できる」研修の充実

- 校内研究・教科部会の一層の充実を図り、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を進め、全ての生徒に必要な資質・能力を育みます。
- 日常的な研修を通して、教員の授業実践力・生徒指導力・人間力を高めます。
- ③ ICT機器を効果的に活用し、全ての生徒に必要な資質・能力を育みます。

### 〔3〕 自己有用感の醸成と、夢を抱き、自ら学ぶ力を育むキャリア教育の充実

- 道徳を中心とした心の教育を通して、「命」や「他者との関わり」に重点を置いた実践を積み重ねます。
- 学校行事や生徒会活動、学級活動、部活動などを通して、成功体験や多くの達成経験ができるようにします。
- HP や学校だより、学年だより、学級通信などを通して生徒の活躍を積極的に発信し、自己有用感の醸成を図ります。
- 夢の実現に向けたキャリア教育の一層の充実や、キャリアパスポートの効果的な活用により、自己理解や自己管理能力の醸成を図ります。

### 〔4〕 小中一貫教育の充実

- 小・中学校で課題を明確にし、9年間を通して必要な資質・能力を育てていきます。

第一中学校の生徒を、どのような子どもたちに育てたいかという「目指す子ども像」や「目標」を地域・保護者の皆様と共有して、その実現に向けて今後も協力していければ幸いです。

「信頼される学校づくり」のため、全ての生徒に必要な資質・能力を育てていきます。「全ての子どもたちのために」という視点を大切に、授業を通して身につけさせていけるように「授業改善」に努めていきます。

感染症拡大防止の対策を取りながら、家庭との連携を図り、必要な情報を発信し、学習・運動・生活習慣の改善について協力を求めています。11月に行われた「学力テスト」（全学年実施）の結果なども考慮して、生徒一人ひとりの学習の定着状況を判断し、二者・三者懇談等を活用して、生徒本人・保護者の皆様と相談していきたいと考えます。よろしくお願いたします。